



第24-11号

2024年5月24日

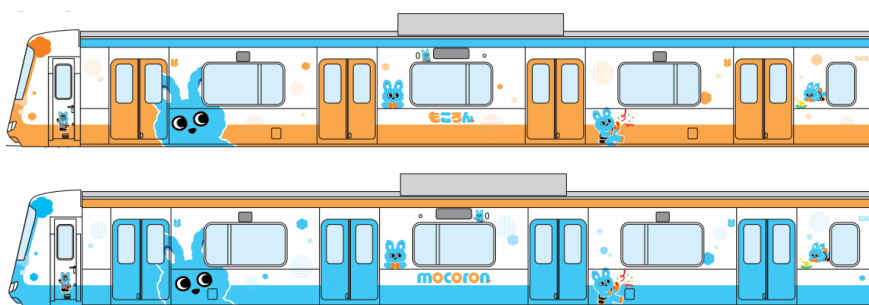
外装の全面ラッピングに加え、お子さまがより楽しめる内装へと大きくリニューアル 6月4日、生まれ変わった「もころん号」の運行を開始します ～いろいろなポーズの「もころん」に囲まれて、楽しい移動時間を創出～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：鈴木 滋）は、現在運行中の「もころん号」1編成への抜本的なリニューアルを施し、2024年6月4日（火）に改めて運行開始します。なお、これに伴い、5月31日（金）に現行の「もころん号」の運行を終了します。

「もころん」とは、小田急線でのお出かけや沿線イベントなどを一緒に楽しみ、お子さま・ご家族の笑顔を育むために2023年8月にデビューした、当社の子育て応援マスコットキャラクターです。同年11月には、広く沿線に子育ての見守り機運を醸成したい思いを込めて、運転台から「もころん」が見守る「もころん号」の運行を開始しました。

今回のリニューアルにより外装は、運転台のある両先頭部のみへのラッピングから、1編成（10両）全面ラッピングへとパワーアップします。1～5号車は夕空を、6～10号車は朝の空をそれぞれ基調として、そのなかにさまざまなポーズの「もころん」をレイアウトすることで、ホームでお見かけいただいた際に楽しい気持ちを醸成します。

内装は、中吊り等の広告スペースを「もころん」一色にしていたところへ、さらに遊び心を加えます。特にお子さまに人気の運転台真後ろスペース（乗務員室と客室の間）には、大きな「もころん」のイラストを施し、運転士気分の楽しい時間を一層盛り上げるほか、3号車「小田急の子育て応援車」への貫通扉（2・4号車から3号車へ移動するための扉）や、同車両の車いす・ベビーカースペースにもイラストを施すなか、同車両内等に「隠れもころん」を忍ばせることで、多くの方にワクワクする移動時間を創出します。



側面全体にラッピングした「もころん号」（上：1号車 下：10号車）



乗務員室と客室の間の「もころん」

当社では、沿線地域との持続的な成長を目指し、2021年11月に「子育て応援ポリシー」を発表しました。少子高齢化に対する独自のアプローチとして、小児IC運賃を全区間一律50円に設定（低廉化）し、通勤車両の3号車を子育て応援車両とするなど、子育て支援の取り組みを強化しています。これからも、子育て応援担当「もころん」を中心に、お子さまと子育て世代の笑顔があふれる沿線を目指し、子育てを応援する取り組みのさらなる拡充に向けて、子育て応援ポリシーに賛同いただくパートナーとの共創も推進します。

『もころん号』のリニューアルの詳細は、下記の通りです。

記

- 1 運行開始日 2024年6月4日(火)
リニューアル施工のため、現行「もころん号」の運行を5月31日午前中に終了する予定です
- 2 使用車両 通勤車両「5000形」 1編成(10両)
- 3 運転区間 小田急線全線(小田原線・江ノ島線・多摩線)
- 4 概 要
 - (1) 外 装
 - ・ 従来の、運転台がある両先頭部のみへのラッピングから、1編成(10両)全面ラッピングへと変更します
 - ・ 従来のラッピング基調を引き継ぎ、1～5号車は夕空を、6～10号車は朝の空をそれぞれイメージして、そのなかにさまざまなポーズの「もころん」をレイアウトします
 - ・ 両先頭部のラッピングデザインも変更します
 - (2) 内 装
 - ・ 従来の、中吊りやドア横、荷棚上の広告スペースジャックに加え、以下の車内エリアに「もころん」のイラストを配置します
 - ・ 運転台の真後ろ(乗務員室と客室の間)
 - ・ 「小田急の子育て応援車」(3号車)への貫通扉(2・4号車から3号車へ移動するための扉)
 - ・ 「小田急の子育て応援車」(3号車)の車いす・ベビーカースペース
 - (3) その他
 - ・ 従来から変わらず、両運転台には「もころん」のぬいぐるみを配置し、お子さまのお出かけを見守ります
 - ・ 同様に、「小田急アプリ」を通じて、「もころん号」の走行位置をリアルタイムでご確認いただけます
- 5 お問い合わせ 小田急お客さまセンター(ガイダンス1番/お問い合わせ・ご案内)
電話: 044-299-8200(9時00分～17時00分)



「小田急の子育て応援車」の車いす・ベビーカースペース

以 上